

広陵中のみなさんへ

校長 千葉雅樹

いよいよ2学期が始まりますが、皆さんご存知の通り、現在、旭川市も若い世代で新型コロナウイルスに感染してしまった人が増加傾向にあります。そんな中、今私たちにできることは、みんなで、感染予防対策をしっかりと行うことです。話をするときはマスクを着用する。手洗いや換気をしっかりと行うことや具合の悪いときには、登校を控え、体を休めることです。今まで取り組んできたことを再確認し、安心して安全な学習環境、生活環境を整えていきましょう。

さてそこで、皆さんにお願いがあります。
それは、不安に思う気持ちが行き過ぎてしまったり、誤った情報に惑わされてしまったりして、感染した人や医療に携わる人などに対して誹謗中傷や差別的な言動が行われてしまう

「コロナ差別」

があってはいけないということです。

新型コロナウイルス感染症は注意していても誰もが感染する可能性があります。みんなが自宅や学校で感染予防を徹底しているにもかかわらず、感染する場合があるのが新型コロナウイルスです。

☆感染した人が悪いではありません

☆闘うべき相手は人ではなくウイルスです

☆感染した人への誹謗中傷や差別的な言動は絶対にやめてください

☆差別は、どんな理由があっても絶対に許されません

広陵中からは、絶対に「コロナ差別」を起こしてはいけません

ぜひ、もし自分が感染したら、「周囲の人にどんな対応をしてほしいのか」「こんな対応をされると悲しい気持ちになる」などということを考えて下さい。

そこで、自分のために、仲間のために、みんなのために、次の2つのことに取り組んでほしいと思います。

- 1 いろいろな場面で、「感染者は誰」などという、感染症にかかって苦しんでいる人を傷つける行動は絶対にやめましょう。
自分が感染したときのことを考えて行動しましょう。
- 2 改めて、感染予防対策をしっかりと取り組んでいきましょう。マスクの着用、丁寧な手洗い、定期的な換気、自分のことは自分でしっかりと守ることはもちろん、周りの人もしっかりと守りましょう。

きみたちは、仲間のことを思いやり、やるときにはしっかりやることができる子どもたちです。知恵と勇気と優しさの心で、対応してほしいと思っています。

2学期も君たちの活躍を期待しています。

